

7月19日商工会議所との質疑

木村専務

私は、郡部の説明会には行っていませんので、どなたが司会者か知らない。私の名前がブログに出ているようだが、私は司会者を知らないので働きかけることはできない。

井原

木村専務が当日行かれたわけではないのですね。

木村

当日、シンフォニアには行ったが、司会者がどなたかは知らない。商工会議所の議員と一緒に初めて説明会に行っただけなので、どなたがその日司会をやるとか、そういったことは、事前に告知もされていなかったのではないかと。

井原

改めて回答していただければいいのだが、質問の1番について聞く。

木村専務が、当日、控室と一緒にいられたのか。

木村

私は、控室には行っていません。

私は、商工会議所の役員と一緒にいられたのだが、受付のところで、ブログを書いた人とたまたま会った。受付で会って、あの方が質問するということを他の団体の方から聞いていたので、私があの方にお願いしてはいない。ブログには、前日 K 専務から言われたと書いてあったのだが、それは事実だ。ある団体から賛成の立場から質問させたいということを聞いていたので、それはそれで前日会っているので

井原

前日に、よろしくと言ったのですね。

木村

よろしくと言ったのは、たまたま、西の会場である総会があって、そこに私も行って、本人にあったので、明日はよろしくといった。それぐらいの気持ちだった。

井原

ブログには、そのことが書いてあるだけ。「前日、会議所の K 村専務から明日はよろしくといわれ、なんとも寝付きの悪い夜を過ごした」と書いてあるだけ。

木村

私も、ある団体の会長やっていたので、昔からよく知っているのです。

井原

だから、この方は気の毒だと思う。このブログを見たら、やりたくないことをやらされたみたいで、もう二度とやりたくないと書いてある。やはり、進んでこういうことができる人とやはり正直な方もたくさんいるわけで、この方は、米軍再編には賛成だったかもしれないが、ここまでは本当にやりたくなかった。最後まで後悔して、質問の時もゴタゴタし、もう二度とこんなことはやりたくないと書いてある。私も知っている人だが、気の毒だと思う。それを、正直に書いている。しかも、この方は事業をやっている人だから、お客さんの中には政治的な立場とか再編に関する考え方とかいろいろな意見を持っている人がいるわけで、やはり色を出したくないと、個人の事業主の方は思うはず。そういう意味では、本当に嫌なことを付き合いの中でやらされたということが彼にとってはかわいそうだと思う。しかも、それを私たちが取り上げてやることになっているから。だから、すごくかわいそうだとわたしは同情しているが、でも、それと事実を明らかにすることは別だから、彼を追求しようと思っただけではなく、事実を確認したいだけ。

今説明のあった、木村専務が当日、質問者を連れて控え室に行き司会者や部長に会ったということではないと、受付で会っただけと。

木村

受付で会って、控室はあちらだということで、中には入っていないが、本人をそこまで連れて行ったのは事実。

井原

控室のところまでは、連れていかれたのか。

木村

はい、そうです。それは私が、確かに連れて行った。

井原

ここにある連れていかれたというのは事実なのですね。

ブログには書いてないが、岩国市との協議の中で、商工会議所の方が質問予定者を連れて、最初はどこか違うところに連れてこられて・・・という説明があった。

木村

控室がどこかということも私は知らないわけで、基地対策担当部長に面会したとあるが、部長がいたかどうかは記憶がない。控室のドアを開ければ市役所の方がおられたので、市役所の人のところまで連れて行ったことは事実。そこに基地対策担当部長がおられたかどうかは、2ヶ月も前のことなので記憶にない。

井原

では、司会者である加納部長に面会したということは

木村

加納部長は多分おられたとは思いますが、中に入っていないので。

井原

中に入っていないのですか

木村

入っていないので。控室がどこかということも私は知らないです。裏にいくつも控室があるので、どの部屋にどなたがおられるのか、私は全然知らないです。控室に行く通路を本人は知らないはずだから、私が誘導して連れて行ったということ。それで何か問題があるのですか。

井原

事実を確認している。市役所の説明によると、まず控室ではなくて、市役所の関係者の方は会場と舞台と行き来していたので、控室の外に連れてこられたので、それではということで控室に案内して、控室の中で挨拶を受けたとなっているが、

木村

当日、どうだったかわからないが、私は、傍聴に行った一人なので、そこまであれがどうだったかという事はおぼえていないが、市役所の方が言われたのならというくらいです。私がどうこうしたということは、今説明した通りです。

井原

藤村さんだけではなくて、5～6人連れて行ったということも

木村

そうです。受付でたまたま会った人を。私どもは容認している団体だから、いろいろな条件、付帯決議をつけて、平成17年にいろいろなモノを作ってほしいとか、あれをやってほしいとかいう団体なので、それについてはある程度、そういった会議なので、しっかり発言しようということだったので、そういった人を連れて行ったということ。

井原

ブログには、Y本と書いてあるが、これは安本さんだと思うが、彼がいろいろ質問依頼をしていることが書いてあるが、

木村

それは、わからない。

井原

他の何人かの方も Y 本さんから言われたのか、それは分からないが、彼は Y 本さんから頼まれたと書いてある。それは、Y 本さんが防音工事の関係（協議会）の会長をやっておられるから、その関係で頼まれたと。専務がすれば会議所自体がすることになるが、専務として質問をアレンジして頼んだことではないと、

木村

それは、ありません。

井原

2 番目の質問については、どうですか。

木村

「質問をしたい」とか端的に書いてあるが、「この人に当ててほしい」とか、「こういう質問をするよ」とか、私が言うべきことでもないので、私が言ったという事実はない。断言する。

井原

3 番目は、どうですか。初めに言われたが、司会者に働きかけるということではないと

木村

司会者がどなたか知らないので、ということにつきる。

井原

会議所の立場として、住民説明会で言いたいことは言いたいと思うが、ということですね

木村

私も、言いたいことがあったが、私が手をあげてということではなかった。

井原

それでは、会頭にもご相談いただいて、改めて回答していただけますか。

木村

回答は必要ですか。今度正副会頭会議があるので、お話は会頭にも伝える。はっきり言って、質問状をいただく団体でもないので、会頭がそうしろと言え別だが、よろしければそれでということで。会場には会頭も私の斜め前くらいにいたので、当日の状況はよく知っているはず。

南部

会頭にご相談されて、我々としては、できれば回答をもらいたいということを伝えていただいて、判断して下さい。その返事は、直接、井原の方に伝えて下さい。

木村

それでは、携帯の方に連絡します。

南部

私も、住民説明会に出ていて質問したいことがあって何度も手を挙げたが、顔も知られてたのか、当ててもらえなかった。こういうサクラのようなことで質問が決められてしまっていたら、本当の意味での住民説明会ではない。そこについては、非常に不満を持っている。この間も市役所でいろいろ議論したが、あまりはっきり言わない。もう、明々白々に段々なっているわけで、それは悪かったと言われた方がスッキリする。相変わらず頑張っておられる。そう頑張られると、我々としても、言うべきことを言わなければならないことになる。

木村

会頭には、そのことも重々伝える。

サクラ問題については、私たちは関知することはない、といえはあれだが、商工会議所がどういう団体かはよくご存知だと思うが、そのあたりはまたじっくり話していただければと思う。

小中

商工会議所も市の発展のために業務を行っているのだから、公の立場の考え方を重々心得ていただいて、公平な立場で、集会などに臨んでいただきたい。

井原

市から補助金も出ていますよね。いろいろな事業などにも

木村

全体の事業が100あれば、5%くらいは出ている。

井原

運営費などへの補助もあるのでは

木村

出ていません。ほとんど今言った5%程度です。

井原

法律に基づき設立された公的な団体だと思う。それから、市の補助金が出たり、行政とも密接に絡んでいるから、例えば、司会者と打合せをして運営をコントロールしたとか、サクラを用意したという話になると、本当に市役所として問題だが、仮にそうでないとしても、会議所としていろいろ動くとは思いますが、ただやはり、会議所が絡んで、賛成の立場の質問を用意して、こういう嫌がる人にまで頼んでやらせるというのは、やはり、会議所としてはやり過ぎだと思う。業界や経済界の方が自分たちのためにやろうということで自主的にやることは誰も止められないが、会議所が絡んでくると、公的な問題も出てくるし、公平性という観点から、会議所の会員には、いろいろな立場の人がいるはずだから、政治的立場を超えて商工業の発展ということで会議所という組織が動く必要がある。

木村

誤解がないようにすること。岩国市内では90%以上が中小零細企業で、それを支援するのが商工会議所の役割。そうした中小零細企業も岩国市民だから、そうしたことも重々承知して、

井原

現体制になって良くなったと思うが、以前は、政治的に動きすぎることによって会員が減ったという事も聞いた。商工会議所としては、本来の仕事がいちばん大事なのだから。

木村

今回のようなお話があれば、情報として教えていただければ、上の方にいくらでも伝える。井原

あまり会議所に来ることもないしのでどうしようかと思ったが、いろいろ話し合いをさせてもらって有意義だったと思う。会頭にもよろしくお伝えください。